

檄

働く者のための新しい政治をつくるチャンスが来た！
県内全選挙区の勝利に全力を尽くそう！

本日、第 50 回衆議院選挙の公示日を迎えた。10 月 9 日の解散から投開票日まで 17 日間と極めて短期間の選挙戦であり、福島県では改正公職選挙法により 5 選挙区から 4 選挙区に見直しがされ、初めての選挙となる。

連合福島は、これまで支持・支援する政党・議員と五者協議会を通じ闘いの準備を進め、構成組織、地域・地区連合で闘う体制を確立した。

今次衆議院選挙は、昨年末に明らかになった自民党の政治資金パーティーの裏金問題に端を発し、岸田政権への信用失墜により誕生した石破政権が、能登半島の災害対応、物価が上昇する中での経済対策、政治改革等、国民のための政策論議を求められていたにもかかわらず、解散総選挙が有利とし、国会を軽視し、国民に対する欺瞞、党利党略の解散をしたことによる。このような自民党の姿勢は厳しく問われなければならない。

国民が求める政治改革と真の民主主義の確立、継続した賃上げによる好循環の経済対策の実施など、国民の信頼と期待に応える政治を確立し、政策を実現しなければならない。

連合・連合福島は、今次衆議院選、「働く者・生活者の立場に立つ政治勢力を最大化」を前提にし、「与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセット」することを目標とした。

国際情勢、社会環境、経済情勢等が大きく変化する状況下、今の政治をリセットし、日本の新しい政治をつくるチャンスが来た。

まさに、連合福島は、五者協議会と一体となり、その力を示すと時が来た。

連合福島は、福島県の労働者を代表する組織として、組織力と政策実現力を強化し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、推薦候補者全員を国会へ送り出す。

闘いは、本番を迎えた。10 月 27 日の投開票日まで、連合福島・構成組織・地域地区連合・全単組が一丸となって選挙戦を闘い抜いていく。

推薦候補者全員の勝利に全力を尽くそう！

2024 年 10 月 15 日

連合福島

会長 澤田 精一